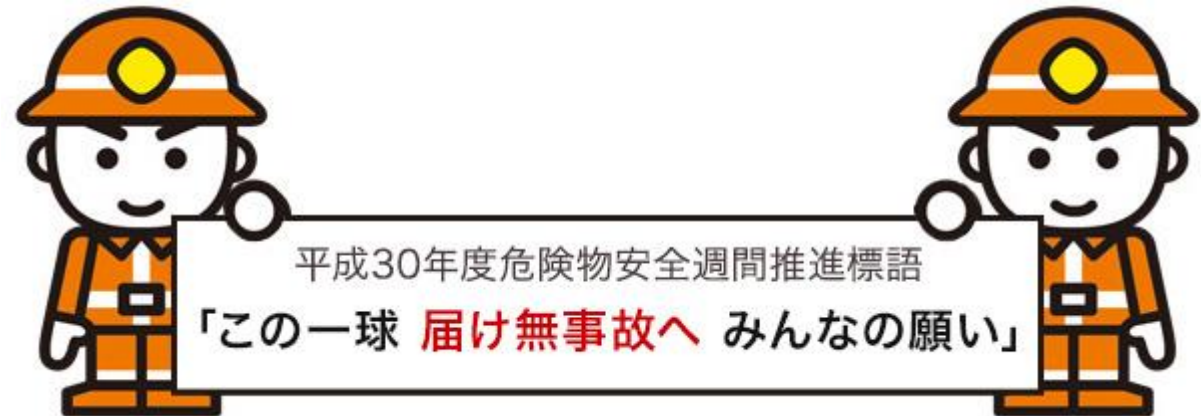


【危険物安全週間】 三井精機工業(株)で自衛消防訓練を実施しました！

平成30年6月4日（月）

三井精機工業(株)（川島町八幡地内）の自衛消防隊は、
万一、危険物施設で火災が発生した場合の
初動活動（通報、消火、避難誘導）の訓練を実施しました。



初期消火訓練 (小さな火のうちに消す。これが「初期消火」です。) 《危険物安全週間》



【解説】

- ・危険物を伴う火災は急激に延焼拡大する特性があることから、三井精機工業(株)では、初期消火の段階でより多くの消火器を集めて、一度に放出することにより初期消火能力を高める工夫をしています。

消火訓練

《危険物安全週間》

- ・ 真剣、気迫に満ちた姿勢で消防車から放水する自衛消防隊



【解説】

- ・ 危険物を伴う火災は急激に延焼拡大する特性があることから、三井精機工業(株)では、中期以降の火災に対応するため、消防車を常備しています。

避難訓練（より安全な場所へ）

《危険物安全週間》



【解説】・災害が起きたとき、より早い避難行動は、最も重要です。

・三井精機工業(株)では、勤務場所に近い安全な場所を一時避難場所として複数指定しています。なぜなら、人員点呼の効率化を図り、避難できていない従業員をいち早く特定し速やかに対応するためです。

【参考】「人間は避難行動に移りにくい？」

火災報知器が鳴り出したとき、皆さんは「消防訓練かな？それとも点検でもしているのかな？」とってしまうことはありませんか。この感じ方が「正常性バイアス」といわれる心理状態です。

人間は、不安や恐怖を避けるため、自分は安全であると思い込んでしまうことがよくあるそうです。

本当は大きな火災なのに、本当は自分が危ない状況なのに、避難に移れない。このことで大きな被害につながることは、過去の災害でもあることなのです。皆さんは、率先して避難するよう普段から心がけてください。